

## 『個性をみがく油絵』

二科会会友 古野紀征先生

### 『心にある原風景を描く』

「私には心が帰る場所があります。生まれ育った故郷の伊勢です。そこが私という人間の原点、私の作品の原風景であります。」 静かに語られる古野先生のたたずまいは、伊勢の海のようにおだやかです。

『1976年の第61回二科展初入選』を期に以後連続入選。  
『1992年、二科加藤賞』・『1993年、二科特選』・  
『1995年、中部二科賞』・『2009年、二科会会友推挙』  
と華やかな経歴。その作品の多くがメキシコを題材としています。初めてその景色に出会った時は胸がうち震えたそうです。メキシコで見つけた「心にある原風景」。以来魅せられて旅を重ね、数多くの作品を描いてこられました。今では、イタリア、スペインといった国へも、「原風景」を探しての放浪の旅をライフワークとされています。



「第94回二科展」、古野先生が二科会会友となった作品『ろばとおじさんA』に「小さい犬」が描かれています。先生の作品に度々登場して、いつも「おじさん」の傍らに寄り添います。ちゃんと空を仰いでいる犬。当センターのスタッフは皆、この犬が好きです。観るたびに、一緒に絵の中へと旅に誘ってくれます。そこは広くて奥深い道のりです。月の明り、ランプの灯り、ほのかな明かりに導かれてする旅は、その先に何かきつと、待っていてくれる気がします。そしてどこかしら懐かしい心地になります。先生の原風景は、そのまま、私達日本人の原風景でもあるからでしょうか。



「個性をみがく油絵講座」は、自由に！をモットーとしています。経験や技術などは気にしないで、自由に気軽に描いてみると、だれしも個性がどんどん出てきます。先生は、その人の持つその個性を、大切にゆったりと表現してもらいたいそうです。それは観た人にも必ず伝わるそう。一番は『まずは、描くことを楽しんでもらいたい、これに尽きます。』と。続けて「分からない時、困ったときは、しっかり私を使って下さい。」とも。初めてでも、空白があっても、沢山経験があっても古野先生に一度会いに来てください。その、人柄溢れる教室と作品に触れてみませんか。そしていつか、心が帰れる場所を、きっと見つけて頂けたら。と、そんなおもいが広がります。